

3. データベースの操作

3-1 クエリの作成

クエリとは質問の意味で、データベースに対して問合せをする機能のことです。クエリを作成する作業とは、データを抽出するための条件を設定する作業でもあります。Access は RDMS (Relational Database Management System) なので、関連付けられた複数のテーブルを結合して問合せ結果を得ることができ、その結果はビューテーブルとして表示されます。クエリの種類としては、以下のようなものがあります。テーブル作成・追加・更新・削除クエリは「アクションクエリ」ともいわれ、一度の操作で多数のレコードを扱うことができるものです。


クエリの種類	機能
選択クエリ	問い合わせ機能で、並べ替えや、ある条件のデータの抽出をする。
クロス集計クエリ	テーブルの指定フィールドによって集計結果を表示する。
テーブル作成クエリ	指定テーブルをもとに、新たなテーブルを作成する。
更新クエリ	テーブルの指定フィールドを一括更新する。
追加クエリ	指定テーブルをもとに、他のテーブルにレコードを一括追加する。
削除クエリ	テーブルのレコードを一括削除する。

表 3-1 様々なクエリ

3-1-1 選択クエリによるデータの抽出と並べ替え

6 章ではメインメニューを使ってデータを抽出する方法を学びましたが、ここではクエリを使った抽出方法を経験します。

受験者テーブルから「東京都」に在住する人を抽出し、五十音順に並べ替えましょう。表示するフィールドは「受験番号」、「氏名」、「ふりがな」、「都道府県」フィールドとします。以下の通り操作してください。

- ①データベースウィンドウを [クエリ] に切り替えて、「新規作成」をクリックします。
- ②「クエリの新規作成」ダイアログボックスで「デザインビュー」を選び、「OK」をクリックします。
- ③「テーブルの表示」ダイアログボックスが表示されるので、「受験者テーブル」を「追加」をクリックして追加し、「閉じる」をクリックして閉じます。上段はテーブルリスト、下段が設定場所で、「クエリデザイングリッド」と呼びます。
- ④クエリデザイングリッドの「フィールド：」行に「受験番号」「氏名」「ふりがな」「都道府県」を選択します。なお、フィールドの選択は
 - ・「フィールド：」のセルにフォーカスを合わせて  をクリックすればフィールド名のプルダウンメニューが表示されるので、その中から選択する。
 - ・上段のテーブルリストのフィールド名をドラッグする。
 - ・上段のテーブルリストのフィールド名をダブルクリックする。(フィールド名がクエリデザイングリッドの空いているフィールドに入ります。これが便利かなと思います)。
 - ・直接フィールド名を入力する。

で行います。間違えて設定した場合は、次の方法でやり直します。

- ・フィールド名を飛ばしてしまった場合は、飛ばしてしまったフィールド名を上段のテーブルリストから選択して、挿入したい場所にドラッグします。
- ・フィールド名を移動したい場合は、移動させる列の「列セクタ」をクリックして列全体を反転させて、もう一度「列セクタ」をクリックしたままドラッグすると移動します。
- ・列を削除する場合、削除する列の列セクタをクリックして反転させてから **Delete** キーを押します。

なお、列幅を変更する場合は、列セクタの右にマウスポインタをもっていき、エクセルと同じ要領で行います。

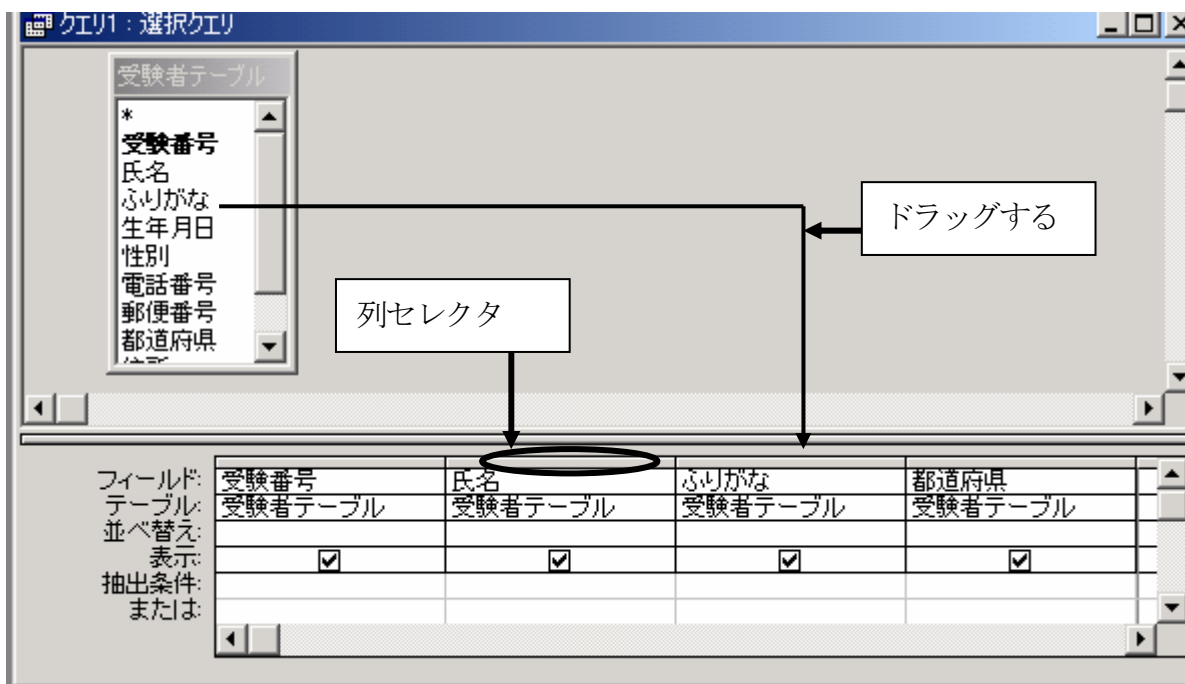


図 3-1 「Q_東京都」の作成

- ⑤ 「都道府県」フィールドの「抽出条件:」に「東京都」とタイプし、「ふりがな」フィールドの「並べ替え:」にフォーカスを合わせると、プルダウンリストが表示されるので、「昇順」を選択します。
- ⑥ ツールバーのビュー、またはメインメニューの「表示」→「データシートビュー」をクリックすると、クエリの結果がデータシートに表示されます。ツールバーの実行アイコン **[!]**、またはメインメニューの「クエリ」→「実行」でも同じ結果が得られます。

The screenshot shows the execution results of the query 'Q_東京都'. The results are displayed in a table with the following data:

受験番号	氏名	ふりがな	都道府県
9	多摩木 弓枝	たまき ゆみえ	東京都
8	東西 郁子	とうざい いくこ	東京都
6	南北 夕子	なんぼく ゆうこ	東京都
5	冬山 昇	ふゆやま のまる	東京都

図 3-2 選択クエリ「Q_東京都」の実行結果

- ⑦ 右上段の **[X]** をクリックして、クエリに「Q_東京都」と名前をつけて閉じます。

3-1-2 抽出条件の入力と集計

抽出条件を入力するとき、数値型の数字や記号は半角入力（例：123）、文字列は” ”で囲む（例：“東京都”）、日付／時刻型の数字は##で囲む（例：#02/12/20#）に注意してください。後は、1-8 節に書かれている比較演算子、ワイルドカード、論理演算子を使います。1-8 節では、メニューを使用して抽出を行いましたが、ここでは抽出クエリによる抽出を練習します。以下の抽出を試してください。

[練習]

受験者テーブルから、以下の条件のデータを抽出しましょう。抽出の際には、すべてのフィールドを表示させるようにします。

- ①氏名が「あ」で始まる人
- ②都道府県が「東京都」で、女性の人
- ③「～市」に住んでいる人
- ④電話番号の「市外局番が4桁」の人
- ⑤電話番号の「下1桁が0」の人

・パラメータクエリ

また、誰かの電話番号を知りたいとき、その人の名前を指定して画面上に電話番号がすぐに表示されると便利でしょう。それも、本格的にクエリ処理を設定するよりも手軽にできれば。クエリ処理の直前にキー入力などの手軽な手段で行うこのようなクエリ処理を、「パラメータクエリ」と呼んでいます。体験してみましょう。

- ①下図のように「抽出条件」に []（半角）で囲んだ記述を行います。[]の中にはフィールド名ではなく抽出する内容などを文字列として入れておくのがコツです。「ふりがな」フィールドに [抽出するふりがなは?] と記述します。[ふりがな] だけだとエラーになるので注意。

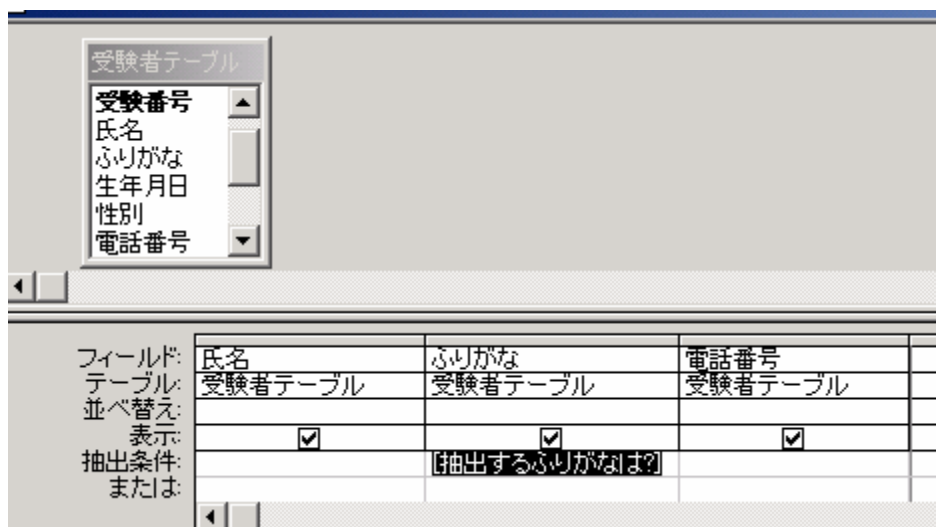


図 3-3 パラメータクエリ

- ②クエリを実行すると、「パラメータの入力」ダイアログボックスが表示され、「抽出する人のふ

りがなは?」と尋ねてきます。「ふりがな」に格納されているデータとまったく同じに、指定、すなわち入力して「OK」をクリックします。例として、「ふゆの みどり」と入力して、データシートビューに切り替えて結果を確認してみましょう。

③右上段の をクリックして、クエリに「PQ_ふりがな」と名前をつけて閉じます。

・集計クエリ

「東京都在住者は何人か」、都道府県別の在住者カウントなど、レコードの集計もクエリで行えます。

①クエリデザイングリッドに「都道府県」フィールドを2つ設定します。メインメニューの「表示」→「集計」を選択すると、「集計：」行が追加されます。

②1つ目の都道府県の「集計：」にフォーカスを合わせると、プルダウンリストが表示されますので、「グループ化」を選択します。

③2つ目の都道府県は「カウント」を選択します。データシートビューで、結果を確認しましょう。

④クエリに「Q_集計」と名前をつけて閉じます

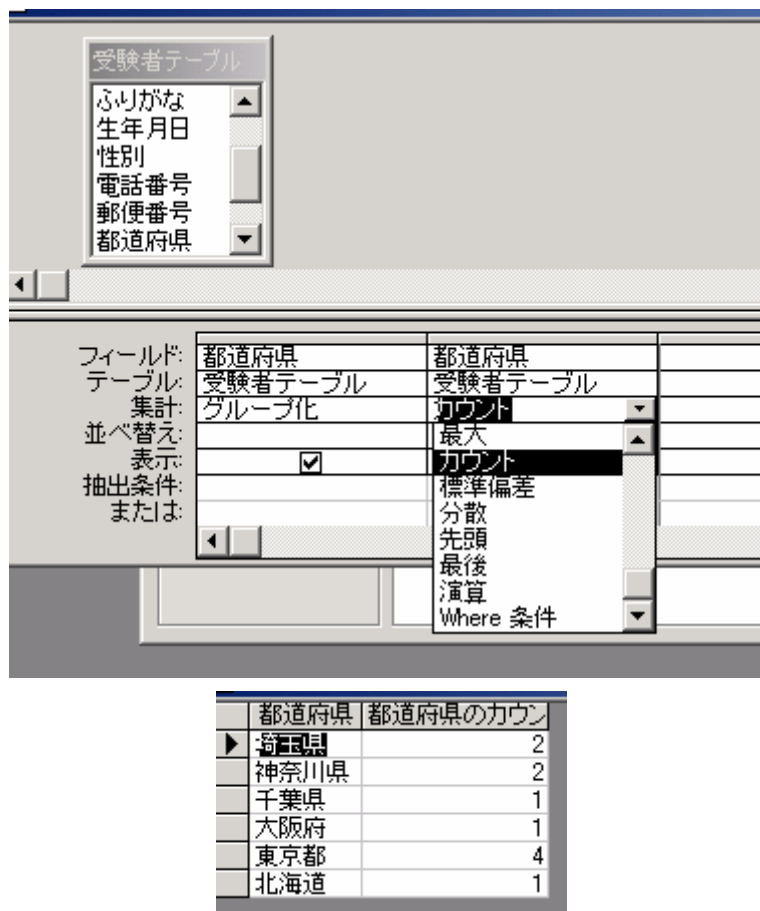


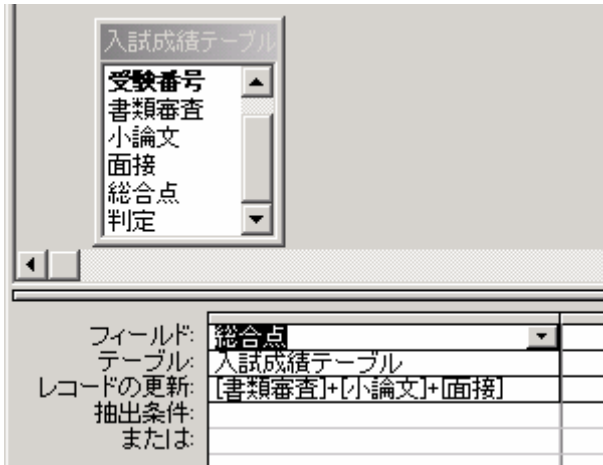
図 3-4 集計クエリ

3-1-3 更新クエリによるデータの更新

それでは、AO 入試データベースを使用して総合点の計算と合否判定を実施することにしましよう。「総合点」と「判定」の項目はすでに存在するので、それを更新するという形をとります。すなわち、更新クエリを作成して計算と判定を行うことにするわけです。

- ・「総合点」フィールドのデータ更新と並び替え

①データベースウィンドウを「クエリ」に切り替え「新規作成」をクリックし、「新規作成」ダイアログボックスで「デザインビュー」を選びます。



②「入試成績テーブル」を追加し、クエリデザイングリッドの「フィールド:」行には「総合点」だけを選択しておきます。

③メインメニューで「クエリ」→「更新」を選択すると、「レコードの更新:」行が下段のクエリデザイングリッドに表示されるので、総合点フィールドの「レコードの更新:」欄に [書類審査]+[小論文]+[面接] という式を入力します。


図 3-5 総合点更新クエリ


入試成績テーブル: テーブル						
	受験番号	書類審査	小論文	面接	総合点	判定
+	1	90	40	38	168	
+	2	90	95	95	280	
+	3	60	70	50	180	
+	4	80	75	80	235	
+	5	70	80	65	215	
+	6	90	75	80	245	
+	7	80	85	90	255	
+	8	85	70	70	225	
+	9	95	90	100	285	
+	10	70	85	90	245	
+	11	100	95	95	290	
*	0	0	0	0	0	

図 3-6 更新結果

入試成績テーブル: テーブル						
	受験番号	書類審査	小論文	面接	総合点	判定
+	11	100	95	95	290	
+	9	95	90	100	285	
+	2	90	95	95	280	
+	7	80	85	90	255	
+	10	70	85	90	245	
+	6	90	75	80	245	
+	4	80	75	80	235	
+	8	85	70	70	225	
+	5	70	80	65	215	
+	3	60	70	50	180	
+	1	90	40	38	168	
*	0	0	0	0	0	

図 3-7 ソート結果

④ツールバーの実行アイコン  をクリックし、更新の確認に「はい」を選択します（更新したデータは元に戻せないのので注意して行うこと）。データシートビューに切り替え、

「総合点」フィールドが更新されていることを確認しておきます。最後に、右上端の  をクリックして、「Q_総合点」と名前をつけて閉じます。

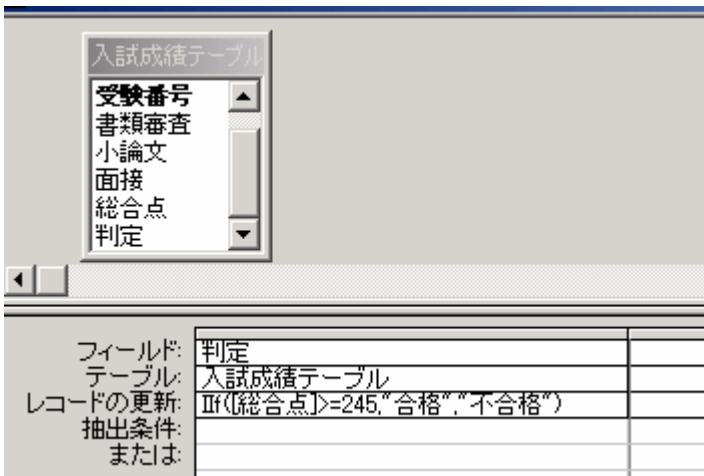
⑤最後に「総合点」降順で並べ替えておきます。操作は6章で学んだので大丈夫でしょう。やってみましょう。

・「判定」フィールドのデータ更新

では、いよいよ合格者の判定です。AO入試の定員は5名としましょう。ただし、上図から5位と6位は245点で同点です。判定会議ではこの両名を合格とし、合計6名の合格者を出すことに決定しました。この決定にしたがって、上位6名(245点以上)の「判定」フィールドに「合格」、その他の受験者の「判定」フィールドには「不合格」の文字が現れるように更新します。

手順は、「総合点」のときとまったく同じです。ただし、判定にはIF文を使用します。

①データベースウィンドウを「クエリ」に切り替え「新規作成」をクリックし、「新規作成」ダイアログボックスで「デザインビュー」を選びます。



②「入試成績テーブル」を追加し、クエリデザイングリッドの「フィールド:」行には「判定」だけを選択しておきます。

③メインメニューで「クエリ」→「更新」を選択すると、「レコードの更新:」行が下段のクエリデザイングリッドに表示されるので、総合点フィールドの「レコードの更新:」欄に IIf([総合点]>=245, "合格", "不合格") という式を入力します。

図3-8 判定更新クエリ

④右上端の をクリックして、「Q_判定」と名前をつけて閉じ、データベースウィンドウを「テーブル」に切り替えて、「入試成績テーブル」をダブルクリックすると、以下のような結果になっているはずですが、確認しましょう。

入試成績テーブル: テーブル							
	受験番号	書類審査	小論文	面接	総合点	判定	
▶	1	100	95	95	290	合格	
	9	95	90	100	285	合格	
	2	90	95	95	280	合格	
	7	80	85	90	255	合格	
	10	70	85	90	245	合格	
	6	90	75	80	245	合格	
	4	80	75	80	235	不合格	
	8	85	70	70	225	不合格	
	5	70	80	65	215	不合格	
	3	60	70	50	180	不合格	
	1	90	40	38	168	不合格	
*	0	0	0	0	0		

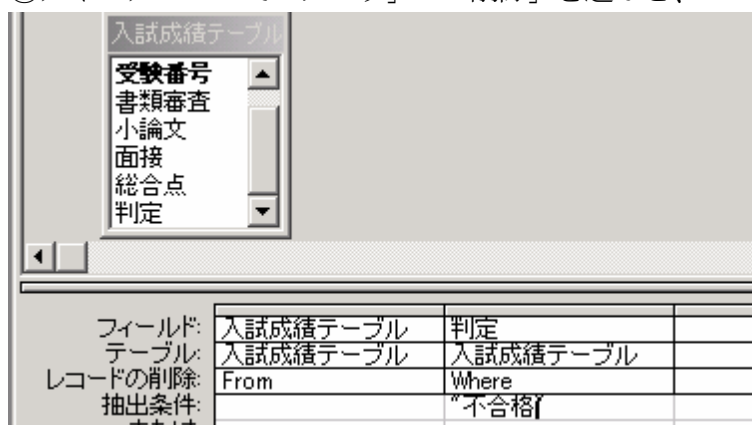
図3-9 判定結果

3-1-4 削除クエリ

削除クエリを使って、合格者だけの表を作成しましょう。通常は合格者だけを抽出すると考える

のですが、ここでは練習のためにも不合格者を削除する形にします。ただし、追加や削除クエリのもたらす結果は後から元に戻せないため、ファイル「AO 入試.mdb」そのもののコピーを作成して、そのコピーで操作してください（コピーの作成は、同じフォルダ内で右クリックによるショートカットメニューを使って「コピー」、次に空いている個所で「貼り付け」とすればよい。[Ctrl] キーを押しながら少しドラッグ&ドロップするだけでもよい）。操作は以下の通りです。

- ①データベースウィンドウを「クエリ」に切り替え「新規作成」をクリックし、「新規作成」ダイアログボックスで「デザインビュー」を選びます。
- ②「入試成績テーブル」を追加して閉じます。
- ③フィールドリストの先頭に表示されているアスタリスク「*」をダブルクリックするか、クエリデザイングリッドのフィールドにドラッグすると、すべてのフィールドを移したことになります。
- ④メインメニューで「クエリ」→「削除」を選ぶと、「レコードの削除：」行が下段のクエリデザイングリッドに追加され、「From」と表示されます。



デザイングリッドに追加され、「From」と表示されます。

- ⑤抽出条件を設定するフィールド「判定」を下段のクエリデザイングリッドの「フィールド：」にドラッグすると、「レコードの削除：」に「Where」と表示されるので、抽出条件を「不合格」とタイプします。

図 3-10 「Q_不合格の削除」の作成

- ⑥ツールバーのデータシートビューをクリックして、レコードの内容を確認しましょう。確認したら、デザインビューに戻しておきます。最後に、右上端の[×]をクリックして、「Q_不合格の削除」と名前をつけて閉じます。

■ 入試成績テーブル：テーブル						
	受験番号	書類審査	小論文	面接	総合点	判定
▶ +	2	90	95	95	280	合格
+	6	90	75	80	245	合格
+	7	80	85	90	255	合格
+	9	95	90	100	285	合格
+	10	70	85	90	245	合格
+	11	100	95	95	290	合格
*	0	0	0	0	0	

図 3-11 削除後の内容

以下の操作では、またファイル「AO 入試.mdb」に戻ってください。

3-2 レポートの作成

レポート機能を使うと、単票形式や表形式のレポートから、グループ形式、グラフ、宛名ラベル、

はがきの表書きなど、様々な形式のレポートが作成できます。レポートの作成方法には、以下のよう
な3つの方法があります。

- ・オートレポートにより全自動で作成する。
- ・ウィザードにより半自動で作成する。
- ・ウィザードを使わずに作成する。

ここでは、合格通知予定者リストを作成するためのクエリを作成して、そのクエリを基にウィザ
ードによりレポートを作成し、その後に修正しましょう。通常、入試結果の通知は合格不合格にか
かわらず受験者全員に通知するようですが、ここでは合格者にのみ知らせるという条件でレポート
を作成します。

3-2-1 レポート作成のクエリの作成

以下のように操作しましょう。

- ①データベースウィンドウを「クエリ」に切り替えて、「新規作成」をクリックします。
- ②クエリの「新規作成」ダイアログボックスで「デザインビュー」を選択します。
- ③「高校テーブル」、「受験者テーブル」、「入試成績テーブル」を追加して閉じます。
- ④クエリデザイングリットのフィールドに、次の情報を入力します。

フィールド	テーブル名	表示	抽出条件
受験番号	受験者テーブル	○	
氏名	受験者テーブル	○	
ふりがな	受験者テーブル	○	
性別:If([住所録テーブル]![性別]=1,"男","女") ^(注1)		○	
高校名	高校テーブル	○	
郵便番号	受験者テーブル	○	
宛名:[受験者テーブル]![都道府県]&[受験者テー ブル]![住所] ^(注2)		○	
判定	入試成績テーブル	○	“合格”
点数	入試成績テーブル	×	

表 3-2 フィールド情報

注1 : 「性別」フィールドの入力方法は、「性別」とタイプして、その後に直接入力に切り替え半
角でコロン””を入力します。コロンはイコールとってください。フィールドの名称を


[]で囲むのは、オブジェクトを表しています。性別は住所録テーブルのフィールドの一つなので、"!"マークで従属を表しています。また、文字列は半角のダブルコーテーション(")で囲みます。IIF関数はエクセルのIF関数と同じ意味をもっています。すなわち、この式の意味は、作成されるレポートの「性別」のフィールドには、「住所録テーブル」の「性別」フィールドの値が 1 ならば「男」と表示し、それ以外「女」と表示しろ、ということになります。日本語文字は全角で、英数記号は半角であることに注意して、この式を実際に入力してください。「式ビルダ」を使って半自動的に作成することも可能ですが、かえって扱いにくい部分もあるので、ここでは直接入力します。

注2 : & (アンパサンド) 記号の意味は、[都道府県] と [住所] を連結するという意味です。高校テーブルにも [都道府県] と [住所] があるので、必ず[受験者テーブル]を前につけること。

以下のようになればOKです。



図 3-12 合格通知予定者リスト作成用クエリのデザイン

⑤ツールバーの実行アイコンをクリックして結果を確認しましょう。最後に、クエリ名を「Q合格通知予定者リスト」と名前をつけて閉じます。

合格通知予定者リスト：選択クエリ							
受験番号	氏名	ふりがな	性別	高校名	郵便番号	宛名	判定
4	夏原 茜	なつはら あかね	女	大阪A高校	562-0003	大阪府箕面市中小路6-87-2	合格
6	南北 夕子	なんまき ゆうこ	女	東京A高校	161-0034	東京都新宿区横落合5-5-5	合格
7	箱山 金太郎	はこやま きんたろう	男	神奈川A高校	225-0014	神奈川県横浜市青葉区御影山2-5-123	合格
9	多摩木 弓枝	たまき ゆみえ	女	東京B高校	202-0011	東京都西東京市北浦4-5-2	合格
10	蔵元 清	くらもと きよし	男	千葉A高校	271-0044	千葉県松戸市東牛橋5-5-67-332	合格
11	文京 花子	ぶんきょう はなこ	女	埼玉A高校	356-0051	埼玉県入間郡大井町亀久保1196	合格

図 3-13 合格通知予定者リスト

3-2-2 レポートの作成

以下のように操作します。

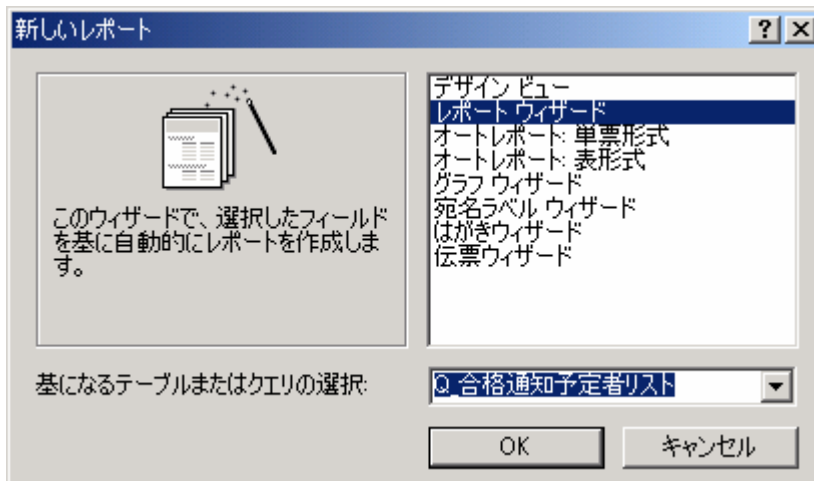
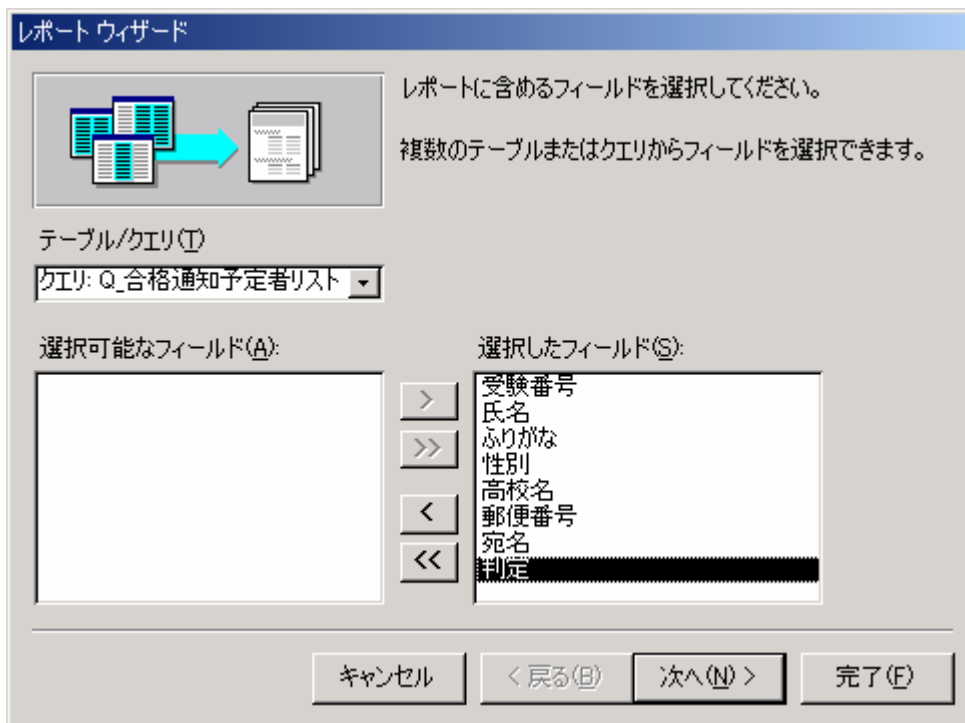


図 3-14 レポートの新規作成

①データベースウィンドウを「レポート」に切り替え、「新規作成」をクリックします。

②レポートの「新規作成」ダイアログボックスで「レポートウィザード」を選択して、「基になるクエリ/テーブルの選択」で「Q_合格通知予定者リスト」を選んでおきます。



③「選択したフィールド:」に、「>>」をクリックして「受験番号」「氏名」「ふりがな」「性別」「高校名」「郵便番号」「宛名」「判定」を移動させます。

図 3-15 レポートウィザード 1

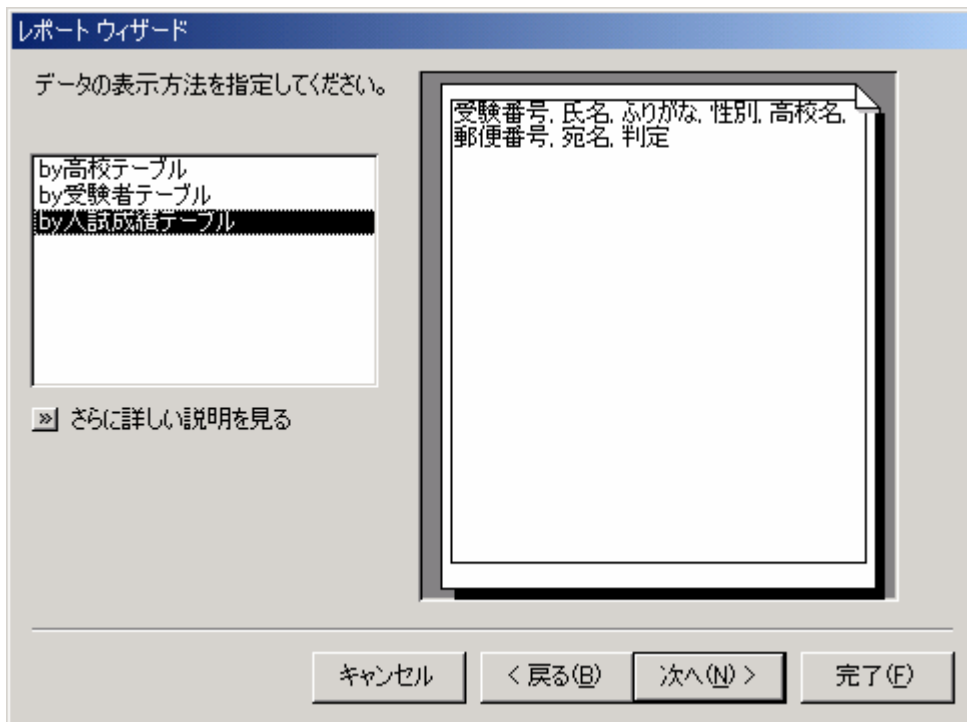


図 3-16 レポートウィザード 2

④ 「データの表示形式を指定してください」を「by 入試成績テーブル」にします。

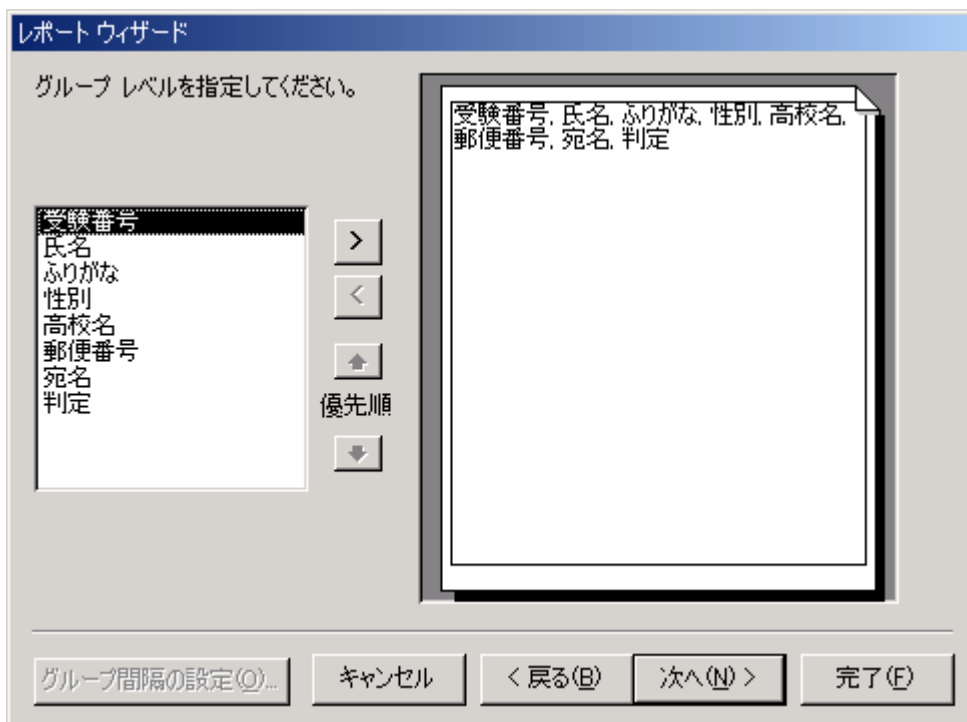


図 3-17 レポートウィザード 3

⑤グループレベルは追加しないので、そのまま「次へ」をクリックします。

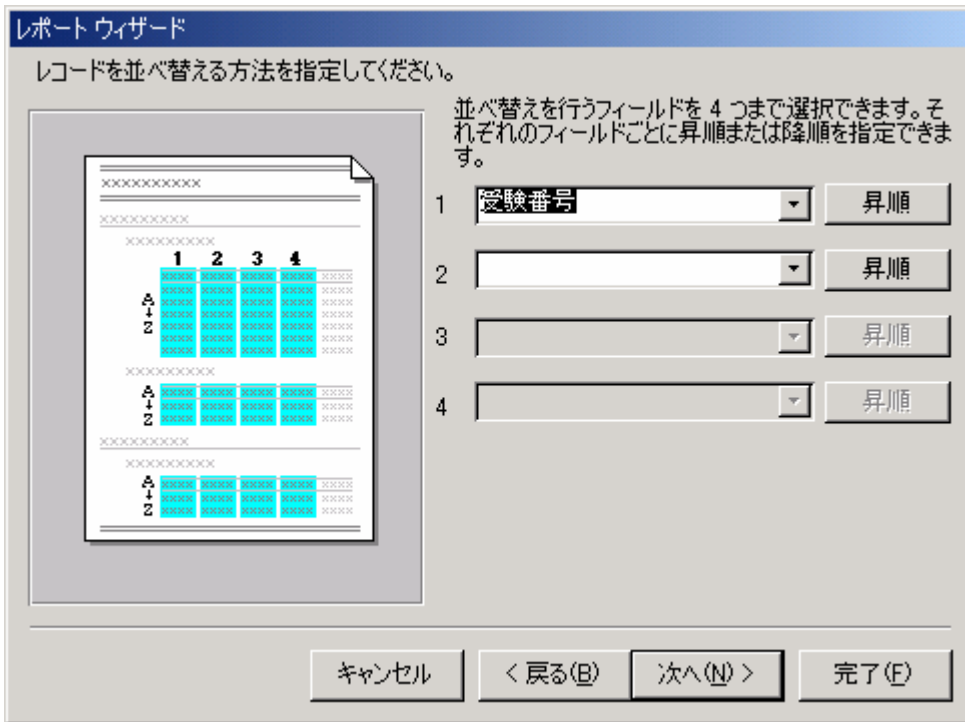


図 3-18 レポートウィザード 4

⑥ 「レポートの並べ替え順序の指定」を「受験番号」の昇順にします。

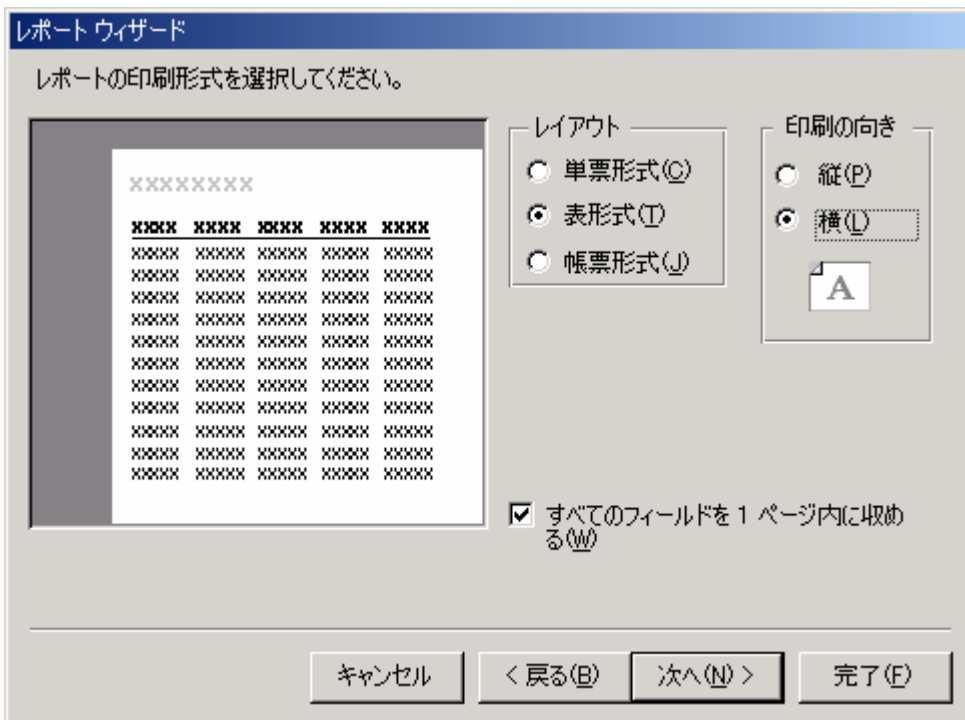


図 3-19 レポートウィザード 5

⑦ 「レイアウト」を「表形式」、「印刷の向き」を「横」にします。

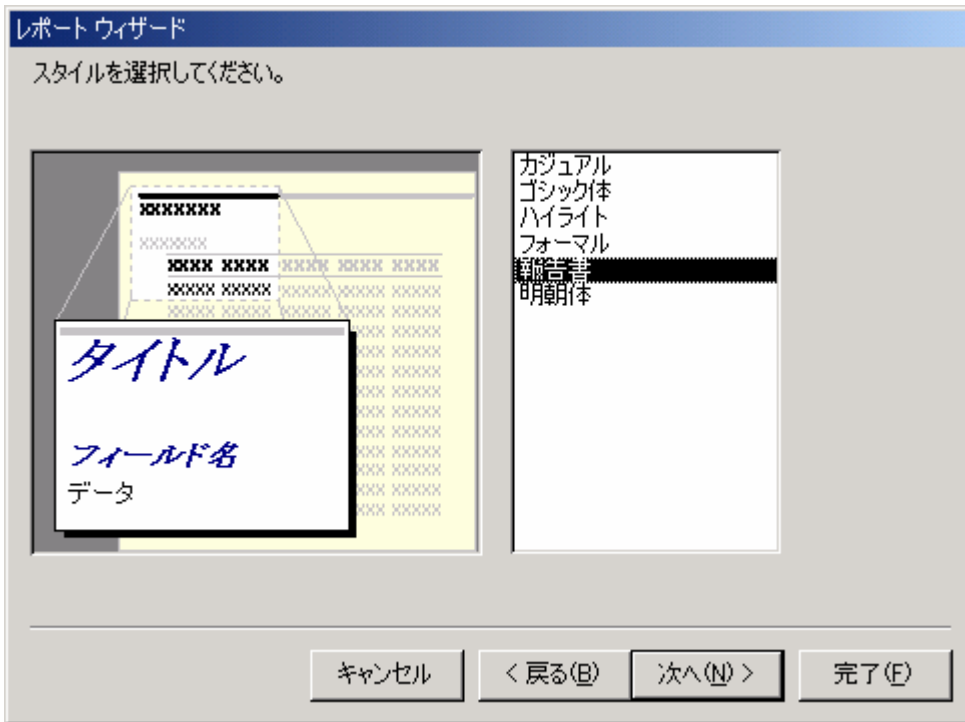


図 3-20 レポートウィザード 6

⑧ 「スタイル」は「報告書」を選択して、「次へ」をクリック。

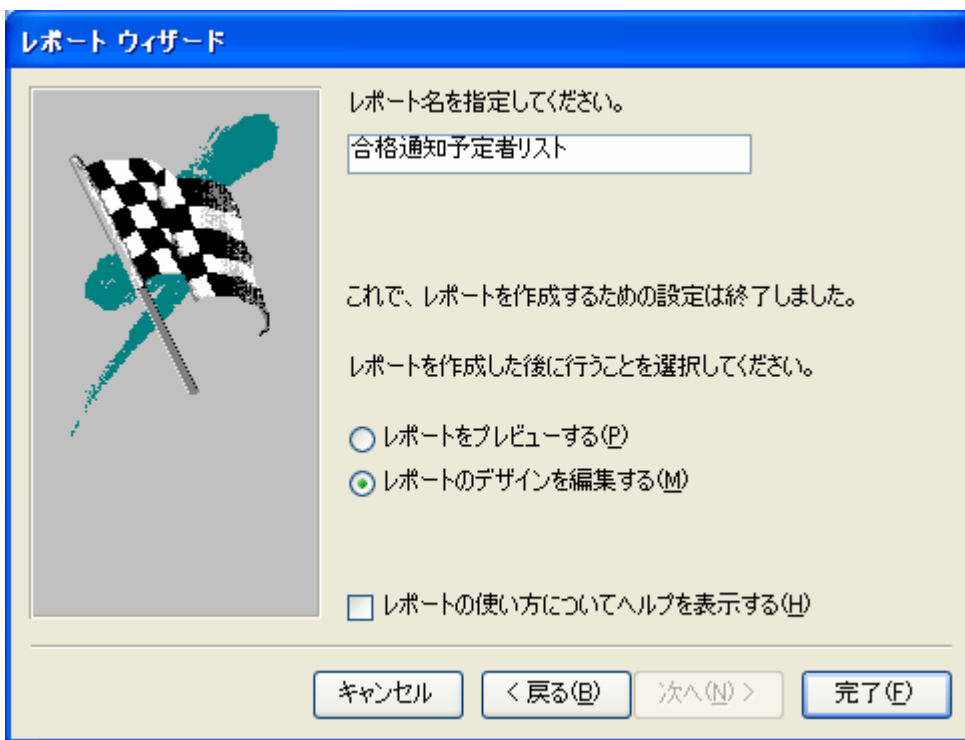


図 3-21 レポートウィザード 7

⑨ 「レポート名」を「合格通知予定者リスト」とタイプします。そして「レポートを作成した後に行うことを選択してください」に「レポートのデザインを編集する」を選択して、「完了」をクリックします。

⑩するとレポートの画面が現れます。すべてのデータが A4 用紙横 1 枚に収まらない場合は、各フィールドの横幅を調整します。いったん閉じてデザインビューに切り替え、フォームを調整したときの要領でフィールドの幅を適切に縮めて位置をつめます。下図のようになれば OK です。

受験番号	氏名	ふりがな	性別	高校名	郵便番号	住所	判定
2	夏原 西	なつはら あかね	女	大阪A高校	582-0003	大阪府箕面市中介路8-37-2	合格
8	高北 夕子	たかきた ゆうこ	女	東京A高校	181-0004	東京都新宿区横尾台5-5-0	合格
7	落山 金太郎	おちやま きんたろう	男	神奈川A高校	225-0014	神奈川県横浜市青葉区瀬影	合格
9	多摩木 弓枝	たまたき ゆみえ	女	東京B高校	202-0011	東京都西東京市北井4-3-2	合格
10	藤元 清	ふらもと きよし	男	千葉A高校	271-0044	千葉県松戸市京牛橋5-3-87	合格
11	文京 花子	ぶんきょう はなこ	女	埼玉A高校	358-0051	埼玉県入間郡大井町亀久保	合格

図 3-22 合格通知予定者リスト

次に、レポートヘッダーに総人数を表示するテキストボックスを作成します。

- ツールボックスのコントロールウィザードが押されていない状態で、テキストボックスをクリックしてレポートヘッダーの任意の場所にボックスを作ります。
- ”テキスト”の後ろに数字が書かれたボックス（ラベルです）を右クリックして、プロパティの「標題」を「総人数」とタイプします。「非連結」と書かれたボックス（テキストボックスです）のプロパティの「コントロールソース」のセルに、=Count([氏名])と入力します。フォントサイズは12が良いでしょう。
- 「名」を表示するために、ツールボックスのラベルをクリックして、人数が表示される後ろに作ります。カーソルが表示されるので、「名」とタイプします。
- レポート名を「合格通知予定者リスト」と名前をつけて、保存します。

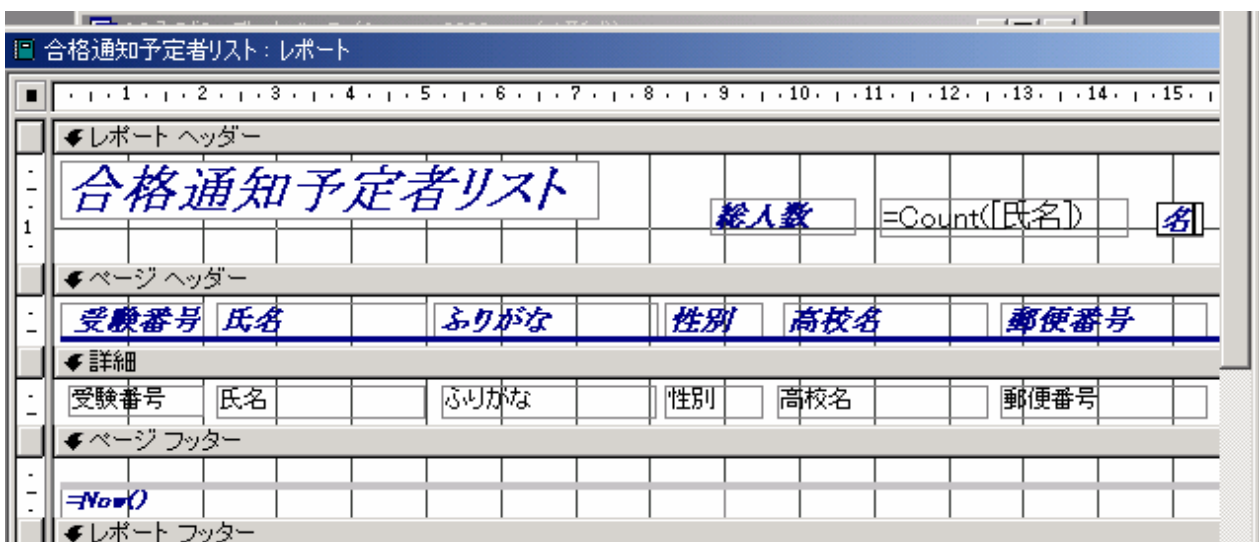


図 3-23 「合格通知予定者リスト」デザインビュー

- ⑪ ツールバーの印刷プレビューをクリックして出力結果を確認し、デザインビューに切り替えて、位置やサイズなどを修正しましょう。フォームを修正したときの要領で、ラベルの範囲を調整

します。宛名を除いて、他のラベルはなるべく小さくするように。横幅が23cm以内程度であると、A4用紙横1枚に収まります。印刷の横幅を23cmに設定するには、まずすべてのラベルとページ右下にページ番号が入るように自動的に設定されている「=[Page] & "/" & [Pages] & " ページ」のラベルもルーラを見ながら23cm以内になるように左に移動します。そして、印刷プレビューを開き、ツールバーの「設定」をクリックして、「レイアウト」タブ内の「サイズ 幅」を23cmと書き直します。最後に、印刷プレビューで確認しましょう。

合格通知予定者リスト

総人数

6名

受験番号	氏名	ふりがな	性別	高校名	郵便番号	住所	判定
2	栗原 西	なつはら あかね	女	大阪A高校	582-0003	大阪府箕面市中介路8-87-2	合格
8	雨北 夕子	なんぼく ゆうこ	女	東京A高校	181-0034	東京都羽根区横塔台3-3-8	合格
7	箱山 金太郎	はこやま きんたろう	男	神奈川B高校	223-0014	神奈川県横浜市青葉区御影	合格
9	多摩木 弓枝	たまき ゆみえ	女	東京B高校	202-0011	東京都西東京市北前4-3-2	合格
10	藤元 清	つらもと きよし	男	千葉A高校	271-0044	千葉県松戸市東平橋3-3-87	合格
11	文京 花子	ぶんきょう はなこ	女	埼玉A高校	358-0051	埼玉県入間郡大井町龜久保	合格

図 3-24 合格通知予定者リスト

3-3 メニューフォームの作成

メニューフォームを作成し、そのフォームに配置されたコマンドボタンをクリックすることでマクロが動き、レコードの登録、合格通知予定者リスト印刷、終了作業が行われるようにします。

3-3-1 マクログループの作成

前節では、マクロをプロパティシートから作成してきましたが、ここではデータベースウィンドウの「マクロ」オブジェクトから作成し、それをプロパティシートで選択する方法をとります。

まず、データベースウィンドウで「マクロ」を選び、「新規作成」をクリックしておきます。さて、いくつものマクロを1つのグループとして名前を付けて保存することができ、その名前をマクログループ名といいます。ツールバーのマクロ名アイコンをクリックするか、メインメニューで「表示」→「マクロ名」と選択すると、上段の順序表に「マクロ名」の列が「アクション」の列の左側に追加されます。マクロの中には、複数のアクションを指定することができるものもあり、マクロ名を記述した行から次のマクロ名の1つ前までが1つのマクロとなります。フォームのイベントプロパティからマクロを参照するときは、「マクログループ名、マクロ名」の形で表示されます。

AO 入試データベースに必要な機能をマクロにすると、次の表のようになります。マクログループ名を「メニューフォームマクロ」と名前を付けて保存します。

マクロ名	アクション	アクションの引数
登録・成績入力	フォームを開く	フォーム名：受験者成績
合格通知予定者リスト	メッセージの設定	メッセージの表示：いいえ (注1)
	クエリを開く	クエリ名：Q_総合点
	クエリを開く	クエリ名：Q_判定
	クエリを開く	クエリ名：Q_合格通知予定者リスト

	レポートを開く	レポート名：合格通知予定者リスト ビュー：印刷プレビュー
	閉じる (注2)	オブジェクトの種類：クエリ オブジェクト名：Q_合格通知予定者リスト
	メッセージの設定	メッセージの表示：はい (注1)
終了	終了	オプション：すべて保存

表 3-3 マクログループの作成

(注1)：追加クエリや更新クエリを実行すると、確認のためのメッセージが表示されます。これを抑止するには、メッセージの設定アクションを使います。

(注2)：データシートビューが表示されていますので、閉じてメニューフォームに戻ります。

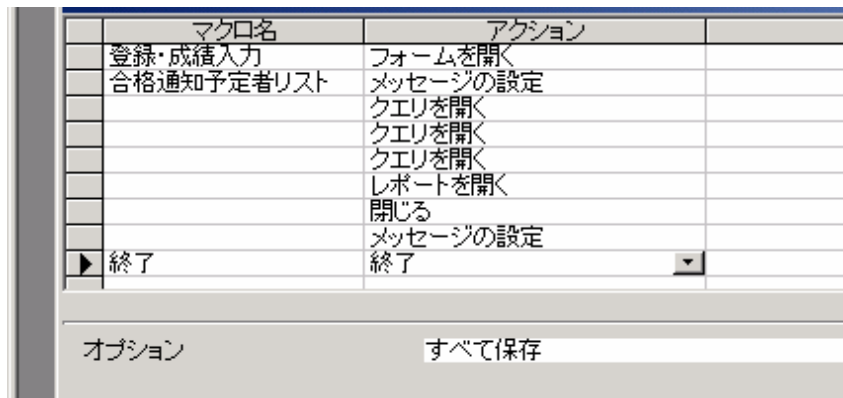


図 3-25 「メニューフォームマクロ」の作成

3-3-2 メニューフォームの作成と自動表示

以下のように操作します。

- ①「フォーム」オブジェクトで「新規作成」をクリックし、フォームの新規作成ダイアログボックスで「デザインビュー」を選択します。
- ②ツールボックスのコントロールウィザードボタンが押されていない状態にして、コマンドボタンとラベルで下図のようにフォームを作り上げていきます。ラベルの文字の調整は、まず文字を入力して確定しておいてから、右クリックでプロパティを呼び出し、フォントの項目で行います。図のような字体と大きさになるようにしましょう。

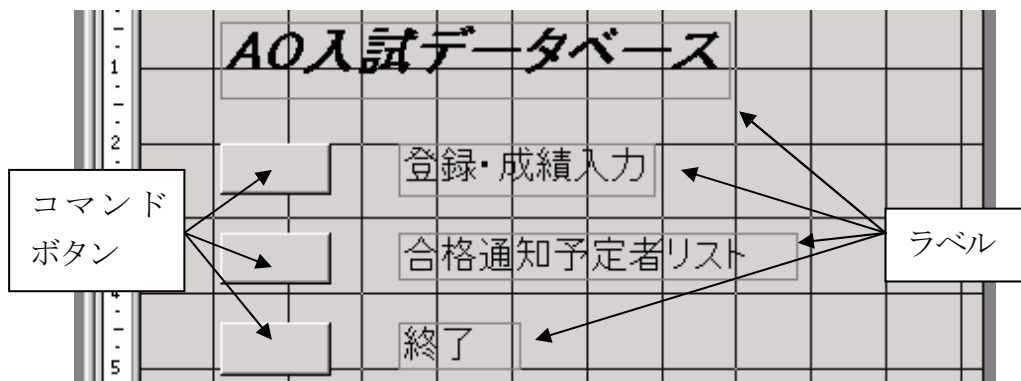


図 3-26 メニューフォームのデザイン

- ③コマンドボタンもそれぞれ右クリックしてプロパティを呼び出し、「標題」の項目を空白にしておきます。次に、イベントタブをクリックして「クリック時」にフォーカスを合わせ、▼をクリックしてプルダウンリストより使用するマクロ名を選びます。上のコマンドボタンから下へ順番に、「メニューフォームマクロ.登録・成績入力」「メニューフォームマクロ.合格通知予定者リスト」「メニューフォームマクロ.終了」としましょう。
- ④ルーラの横を右クリックするか、ダブルクリックして「プロパティ」を選択すると、フォーム全体のプロパティシートが表示されます。「スクロールバー」、「レコードセクタ」、「移動ボタン」、「区切り線」を以下のように設定しましょう。

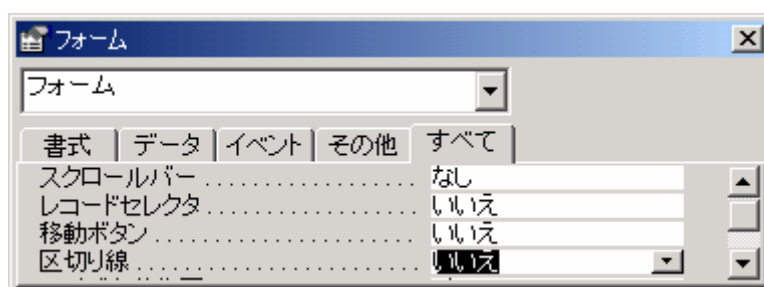
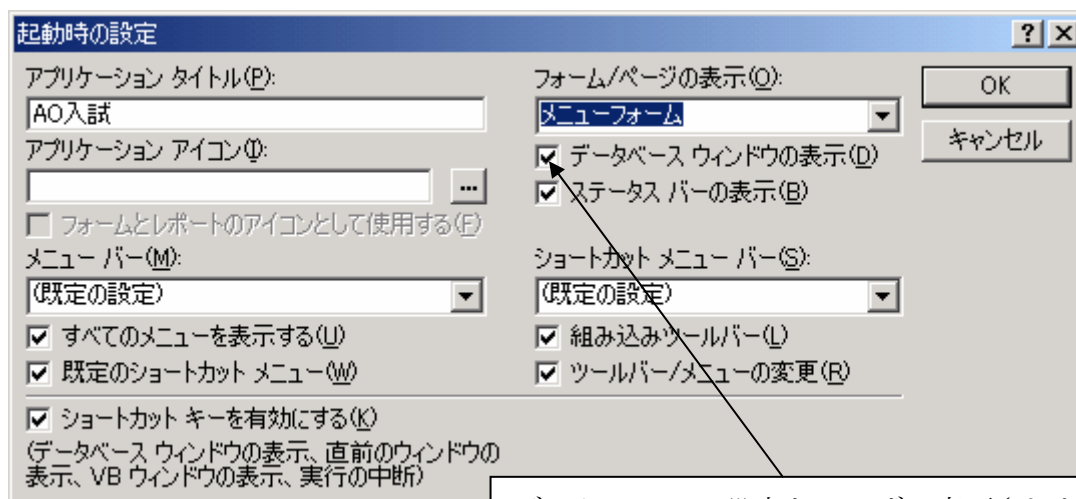


図 3-27 フォームの設定

- ⑤フォーム名を「メニューフォーム」と名づけて、保存します。
- ⑥メニューフォームの自動表示の設定をします。メインメニューで「ツール」→「起動時の設定」を選ぶと、下図のようなダイアログボックスが表示されます。「フォームの表示」の欄で「メニューフォーム」を選択すると、AO 入試データベースを開いたときにメニューフォームが自動的に表示されます。この起動時の設定をキャンセルするには、**Shift** キーを押しながらデータベースを開きます。



データベースの設定をユーザに変更されたくない場合はチェックを消す

図 3-28 メニューフォームの作成と自動表示